

教科名		音 楽	教科書調査報告
発行者名		教育出版	教育芸術社
調査の観点		教育出版	教育芸術社
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた系統性のある題材の配列になっている。 ・楽器の導入やタンギングの仕方等の説明が詳しく、基礎・基本の定着に関する工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年を通じて6年間を見通した系統的な題材構成になっている。 ・楽器の導入や曲想にふさわしい歌い方、旋律の特徴等が分かりやすく説明されており、基礎・基本が定着するように考えられ、工夫がされている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりの発想を大切にしており、児童の創造性を発揮しやすい紙面構成になっている。 ・「はく」や「リズム」など「音楽を形づくっている要素」について「音楽のもと」と教科書上部に見開きごとに掲載することにより、思考・判断しながら表現を深めていく工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つける→考える→歌う・演奏する・つくる」のマークを用いて、どのように学ぶのかを示しており、見通しをもって課題解決をする中で、思考力・判断力・表現力等の育成につながる構成となっている。 ・歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の内容が関連付けて紙面が構成され、学びのつながりや積み重ねが得られる題材構成になっている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の鑑賞や表現を通して、多様な文化に触れることができる。 ・全校合唱曲や手話等が掲載されていてすぐに全校で取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の音楽等、児童が心地よいと感じる曲や多様な分野に関する音楽の資料等が多く掲載されている。 ・音楽性豊かな鑑賞曲を取り入れ、鑑賞資料の内容では、写真やイラストを掲載し、音楽のイメージを湧かせる工夫がされている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通じて他者とつながったり、世界の様々な国の音楽を取り上げたりしている。 ・5・6年生ではSDGsに関する教材を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、歌唱教材にSDGsにつながる歌詞が取り入れられている。 ・社会や生活と音楽との関わりについて考えることができるように、地域の音楽との関連や音楽のもつ役割等の視点が示されている。
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」の二次元コードから奏法や演奏動画、資料などが確認することができる。 ・写真等を用いて明示することにより、各題材の学習内容について児童が見通しをもつことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードから演奏を聴いたり、資料を読んだりすることができ、主体的に学びを進められるように配慮されている。 ・4人のキャラクターの吹き出しから旋律や音の高さなどに着目して比べたり、聞いたりできるように工夫されている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に伝えられてきた音楽や世界の音楽を知ることとESDの視点につながる内容となっている。 ・東京都の八丈太鼓について取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統を学んだ上で、世界の音楽を学ぶことができるようになっており、豊かな未来をつくる児童の育成、ESDの視点に立った内容となっている。 ・東京都の神田囃子について深く取り扱っている。